

会 議 録

1 会議名

平成30年度第5回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

（1）空き家に関する予防策の班検討結果について（公開）

（2）上越市の小中学校の現状と今後について（公開）

○報告事項

（1）渇水等被害の状況について（公開）

（2）連絡事項（公開）

3 開催日時

平成30年9月25日（火）午後6時00分から午後7時50分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者の氏名（敬称略）

- ・委員：丸山 進（会長）、飯田秀治、折笠弘志、佐藤祐子、中川よしえ、難波一仁、
渡辺喜一
- ・教育総務課：金子課長、藤田参事、加藤係長
- ・事務局：牧区総合事務所 山本所長、橋詰次長、宮腰グループ長、綿貫班長、近藤主
任

8 発言の内容（要旨）

8 発言の内容（要旨）

【橋詰次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【丸山会長】

挨拶

【山本所長】

挨拶

【丸山会長】

会議録の確認：：佐藤祐子委員に依頼

協議事項（１）空き家に関する予防策の班検討結果について説明する。各班の班検討の結果は資料１のとおり。

空き家に関する協議は、一年間をかけて行ってきた。昨年１１月から１２月の間に、「牧区における空き家に関する調査」においては、３９町内会長の協力のもと、空き家の現状や問題点などを聴き、調査結果を今年１月に町内会長へ送付した。

空き家に関する協議内容は、地域協議会だよりに掲載したい。

空き家と一口でいっても、個人の財産という観点からも、利活用に結びつけることが安易にできないなど、様々な難しい問題があることから、空き家に関する協議は、今回でひと区切りとする。

清水委員から提出のあった「空き家の現状と対策」の資料を委員の皆さんに配布する。これまで協議してきたことがまとめられているので、参考とされたい。

清水委員においては、自発的に審議内容のまとめをしていただき感謝申し上げます。

空き家に関する予防策の班検討結果について意見はありますか。

【中川委員】

住家について、建物共済に加入していると思うが、それを解約した場合の返戻金で空き家を取り壊していることを聞いた。情報提供してはどうか。

【丸山会長】

情報提供をどのような形で行えば良いか。個人財産にかかわることを詳しく書面で残すことは、問題が出ないとは限らない。

そのため、地域協議会だよりで協議内容を紹介する程度としたいがいかがか。

【一同】

良い。

【丸山会長】

（２）上越市の小中学校の現状と今後について協議に入る。

ここで、講師の紹介をする。上越市教育委員会、教育総務課から金子課長様、藤田参事様、加藤係長様にお越しいただいた。「上越市の小中学校の現状と今後について」をテーマに御指導いただく。

【教育総務課】

自己紹介

説明

【丸山会長】

説明を受け何か質問はあるか。

【佐藤委員】

私は、学校運営協議委員である。来年度から小中一貫校となると聞いている。それと学

校統合のかかわりはどのようになっているのか。

【藤田参事】

小中一貫校は大きく分けると2通りとなる。1つは、9年間という学習を一貫してできるようにするために校長1人。もう1つは小中連携校といい、小学校にも中学校にも校長がいるが、小学校1年生から中学校3年生まで連続して学べるようにカリキュラムをつくる。上越市が目指して牧小中学校に指定したのは、後者になる。小学校、中学校と一緒に作り上げていく小中一貫実践校として進めていく。

それと小規模校との関連について、小中一貫校となつてのメリットは、学びが連続していくことである。複式学級の解消については、結果として、小学校、中学校別になる。教員の配当数も現在と変わらない。

【飯田委員】

適正な通学時間について、徒歩あるいはスクールバスどちらを言うのか。また、先生方について、精神的な面で休職している教師が多くなつたと新聞記事で見た。その2点をお聞きしたい。

【金子課長】

通学時間に関して、手段を問わず30分という想定。

【藤田参事】

教職員のストレス問題について、精神疾患を含め休職する職員がいるのは確かである。複式学級を経験して苦勞することは自分にプラスになることであることから、そういうストレスではないと考える。別な部分でのストレスと考える。

【中川委員】

私の経験上の考えを述べる。複式学級について、弊害はないと感じている。地域自治区を越えた学校統合をした場合、いじめが心配である。現在は、周りの家庭の状況が分かるため心配していない。また、学校統合をした場合、踏みとどまっている若い世代が益々牧区から転出するという懸念がある。

【金子課長】

学ぶ点でみると、少人数の方が良いと考えるが、一定の人数で論じながら学んでいくことになる、一定の学校規模を定め、学びあってもらうというのが我々の考え。

いじめについては、先生方が気を使っている。学校が大きくなったからと言って、すぐに、いじめが発生するかといったらそうではない。

学校統合について、各区では、板倉区、三和区、頸城区、柿崎区統合の話が進んでいる。安塚区や大島区では学校は一つで、既に複式学級が発生している。適正な学校環境として学んでもらうとすると、牧区の場合、地域自治区を越えた統合を想定している。それらを含め、地域協議会の皆様からも議論し意見を頂戴したい。

【渡辺委員】

学区について、選べるものなのか。

【金子課長】

学区について、基本的には住んでいる住所地の学校に進学する。特例として統合の際学区を越え、認められた案件があるが、それ以外は認めていない。

【難波委員】

牧村当時、保護者として小学校の統合の経験がある。地域の声や保護者の声等あるが、

子供の教育のためを第一において、市、教育委員会として議論してほしいと考える。

【丸山会長】

教育総務課の金子様、藤田様、加藤様、感謝申し上げます。
(教育総務課 退席)

牧区地域協議会として、小中学校の今後についての勉強会を続けていくか否か意見を聞きたい。

【中川委員】

地域自治区を越えた再配置となった場合、区内で統合先が別々になることが考えられるのではないかと。牧区の一体感がなくなる可能性が出てくる。そういった面でも今後も勉強会を続けても良い。

【山本所長】

教育委員会から現状の説明を受けましたが、引き続き教育委員会の考えをお聞きした上で、議論を続けてほしいと考えている。

【佐藤委員】

地域協議会が、先走って勉強会や議論をすることは、学校統合を賛成と思われる可能性がある。現在の牧小学校は文武両道で優秀であり、しばらくこのままで見守りたいという思いがある。

【飯田委員】

学校統合を賛成とか反対とかそういう問題ではない。教育委員会提供の資料の児童生徒数の減少する数字を見れば、地域が手を差し伸べる必要があると考えるので、地域協議会で牧区全体のことを議論していく必要があると思う。

【渡辺委員】

保護者の意見、願いがどこにあるのか、聞いてみたい。

【丸山会長】

地域の声を聞いてみることも必要かと思うが、それ以前の問題で、地域協議会として見聞を高めるためにも勉強する必要があると考える。

【難波委員】

本日は、現状の説明を受けた。今後、市として全体像が示された後、何回か機会を作り、協議していく必要がある。

【丸山会長】

只今の御意見を踏まえて、牧区地域協議会として協議を進めていきたいと思う。なお、次回の内容については、事務局、教育委員会と相談のうえ、設定する。

続いて、報告事項に移る。(1) 渇水被害の状況について、事務局から説明を願う。

【山本所長】

干ばつ被害については、水稻の被害として報告いただいた集計では、約 5 ヘクタールで被害が発生し、約 2 ヘクタールの枯死が確認された。

① NOSAI 水稻の損害評価の申請状況について、本日現在で、33 件、270 筆の申請があった。

② かん水用機械等整備対策事業補助金の申請状況について (9/14 締切)

14 件の申請があり、ポンプの購入：18 台、ホースの購入 13 本、ポリタンク 2 台補助金総額は 587,294 円である。

次に、大雨被害の概要について報告する。

① 8 月 21 日の大雨による被害状況について

13 件のうち、農地の法面崩落で 9 件、その他、道路、農道、農業施設の被害が確認された。

② 台風 21 号による被害状況について

5 件のうち、道路への倒木 4 件、付属屋損壊 1 件となっている。

いずれも、小規模にとどまっている状況であり、早急に復旧工事に向けて手続きを進めている。

【丸山会長】

何か質問はあるか。

(意見等徴収)

【一同】

ない。

【丸山会長】

次に(2)事務連絡について、事務局説明願う。

【事務局】

配布物が 3 点ある。

1 点目、高田区地域協議会から意見書の提出があった。参考とされたい。

2 点目、平成 29 年度地域活動支援事業事例集を配布する。参考とされたい

3 点目、男女共同参画推進センターから、情報誌「ウィズじょうえつ」の配布があった。

次に連絡事項が 2 点ある。

1 点目、10 月 16 日に行われる、牧区地域協議会委員視察研修について、出欠票の提出期限が 9 月 28 日となっている。未提出の方は、提出を願う。なお、当日は視察経費として 1,600 円を持参願う。また、費用弁償の支払いをするので印鑑を合わせて持参願う

2 点目、今回、地域協議会出欠報告と一緒に報告いただいた、10 月 16 日視察研修会で自治・地域振興課廣川係長へ聞きたい事項を選定してもらったが、その中から、「地域協議会の果たすべき役割について」、「少子化と地域自治区制度について」、「自主的審議事項の取り組み状況について」、の上位三項目を、牧区地域協議会委員が聞きたい事項として、講師の廣川係長へ報告する。

【丸山会長】

他、委員からの意見等を求めるが無く、会議の閉会を宣言する。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-533-5141 (内線 147)

E-mail : maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。